

H30.9.18 教育・子育て部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時場所 平成30年9月18日(火)19:00～21:00 東淀川区役所4階401会議室
出席者 教育・子育て部会委員9名、他部会委員1名、府議会議員1名

議題1 平成31年度東淀川区運営方針(原案)

・送付資料1・2に基づき説明

議題2 これまでの区政会議の主な意見について・議題3 今後の区政会議について

・送付資料3に基づき説明

ワークショップ

・「平成31年度東淀川区運営方針(原案)について」

(平成31年度東淀川区運営方針(原案)について)

- ① 低体重児出産が気になる。原因として、健診を受ける人が少ないことや喫煙があげられる。
 - ② 妊娠した際の届け出が遅いことへの改善点としてなにかフォローができないか。母子手帳を受け取る時に、話をすることで、低体重児出産も減ってくるのでは。
 - ③ 共働き世帯は預ける場所があり帰宅時間がどうしても遅くなるため、児童が放課後家庭で過ごすのが短くなってしまっているのではないかと。共働きの方の中にも工夫して生活習慣や勉強する時間を作っている方もいるので、注意すべき点を挙げて解決していくことも大事だが、うまくいっている例も啓発していけばいいのでは。
 - ④ 学力に差が出ているが、学習する場があることが大事。親の意識によっても状況は変わってくるのでは。(教わる環境が大事)
 - ⑤ 生まれ月によって子どもと一緒にいられる期間が変わるので、保育所4月一斉入所はどうか。
 - ⑥ ・東淀川区で子どもを産んで育てたいと思うためには、子育てに魅力あるまちをつくる、またその情報についてSNSを活用し発信することが大事。
・妊婦や子育て世代へ適切に情報を届けるために、子育てサイトを作り、SNSを利用して情報発信していくべき(特にTwitterが効果的である)。
・母子手帳交付時などに、SNSを利用して同じ境遇・同じ世代の人達(特に未成年の妊婦)が繋がるきっかけを作ってはどうか。自分と年齢が近い人や境遇が似ている人から経験談を聞くことで悩みを軽減できるのではないかと。またその繋がりが切れ目のない子育て支援に繋がっていくのでは。
・2-1-1の「子育てに活かせる知識・情報発信」の部分に「SNS、Twitter等による」を追記してはどうか。
- ①と⑥を中心に第2回本会の場で部会の意見として報告していく。

・今までのやり方を見直し、今の時代に沿ったアプローチが必要であり、SNSを活用することで区情報について効果的に発信ができるというご意見をいただいた。また、低体重児の問題についても出産前からの切れ目のないケア・情報発信が問題解消に繋がっていく。今後の施策に反映してまいりたい。

(議員からの助言)

- ・運営方針（原案）の課題欄の表記で「低年齢出産が養育者に問題があるケースが多い」という表現は決めつけではないか。
- ・東淀川区の自尊感情の低さは全国的に見ても低い、という現状を地域にしっかり認識してほしい。就学援助率について、学校があり、学校での暴力行為や児童虐待が多い、という現状がある。
- ・子どもによって同じ時間で同じ成果が出るわけではない。子どもへの大人の「できない」という決めつけが子どもの自尊感情の低さにつながる。自尊感情が低い親は子どもの自尊感情を高く育ててあげにくい状況があり、そこに地域がどう関わっていくかが重要である。子どもにできないことをさせるより、できることをさせることで、できない部分もできるようになってくるという統計がある。